

二 豫科ニ入學シ得ル資格ヲ有スルモノニシテ豫科全科目ニ就キ入學試験ニ合格シタルモノ

第二十條 本科第二年第三年ニ入學シ得ルモノハ其志望學年以下ノ全科目ニ就キ入學試験ニ合格シタルモノヲ編入スルコトアルヘシ

第二十一條 研究科第一年ニ入學シ得ルモノハ左項ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 本科修了シタルモノ

二 本科ニ入學シ得ル資格ヲ有スルモノニシテ本科全科目ニ就キ入學試験ニ合格シタルモノ

第二十二條 豫科ニ入學シ得ルモノハ左項ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 中學校ヲ卒業シタルモノ

二 官公私立中學校ニ於テ専門學校入學者檢定試験ニ合格シタルモノ

三 明治三十六年文部省令第十四號専門學校入學者檢定規定第八條ニ依 指定セラレタルモノ

第二十三條 撰科ニ入學シ得ルモノハ中學校卒業以上ノ學力アリト認メタルモノトス

第二十四條 入學許可ヲ得タルモノハ保證人連署ヲ以テ別ニ定ムル書式ニ準シ在學

證書ヲ差出スヘシ

但保證人一名ハ京都市内在住ノ本派寺院住職ニシテ院長之ヲ適當ト認メタルモノニ限ル

第二十五條 休學又ハ退學セント欲スルトキハ保證人連署ヲ以テ出願スヘシ

但休學ノ許可ハ學年一回ニ限リ其學年ヲ超ルコトヲ得ス

第二十六條 一學年中三ヶ月以上休學ヲ願出ルモノハ其學年中休學ト見做ス

第二十七條 一學期間三分ノ二以上休學又ハ欠席シタルモノハ其學期試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二十八條 兵役ニ服スルタメ退學シタルモノハ服役滿期後ハ歸休後一ケ年以内ニ再入學ヲ請フトキハ原級ニ編入スルモノトス

第二十九條 左ノ各項ノ一又ハ數項ニ該當スルモノハ除名シ之ヲ師僧及保證人ニ通知ス

一 學力劣等若クハ疾病ノ故ヲ以テ成業ノ見込ナキモノ

二 何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラス一學年間授業日數三分ノ二以上欠席シタルモノ又ハ正當ノ理由ナクシテ引續キ一ヶ月以上欠席シタルモノ

三 出席常ナラサルモノ

第六章 授業料入學料

第三十條 本院ハ授業料又ハ入學料ヲ徵集セス

第七章 試験

第三十一條 試験ヲ分チテ入學試験學期試験學年試験ノ三種トス

第三十二條 入學試験ハ學年ノ始ニ學期試験ハ各學期ノ終リニ學年試験ハ學年ノ終リニ之ヲ行フ

但最終ノ學期ニ限り學期試験ヲ行ハサルモノトス

第三十三條 試験ノ得點ハ各科百點ヲ以テ滿點トス

第三十四條 品行點ハ百點ヲ以テ滿點トス

第三十五條 品行點ハ各學期末ニ之ヲ評定シ平均シタル得點ヲ以テ學年成績品行點トス

第三十六條 病氣又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリ許可ヲ得テ一學期試験ノ全部又ハ一部ヲ欠席シタル者ハ他ノ學期評點平均數ノ十分ノ七ヲ與ヘテ其欠席シタル科目ノ學期試験點トス

但如何ナル事故ニヨルモノニ學期トモニ受験科目ノ欠席ヲ許サス

第三十七條 一學科ノ學年成績評點ハ各學期試験平均評點ト學年試験得點トヲ折半シテ之ヲ定ムルモノトス

第三十八條 學期試験及學年成績ノ總學科評點ハ各科目得點ノ和ヲ學科數ニテ除シテ之ヲ定ム

第三十九條 學期試験及學年成績ニ於テ其試験ノ總學科平均點ト當該品行點トヲ折半シテ席次ヲ定ム

第四十條 學年ノ終リニ於テ其學年成績ヲ審査シ品行點六十點以上及各學科評點五十點以上諸學科平均點六十點以上ノ得タルモノヲ及第トシ之ニ欠クモノヲ落第トシ

但學科評點五十點ニ滿タサルモ其評點四十點以上ニシテ且諸學科平均點六十點以上品行點八十五點以上ヲ得タルモノハ特ニ斟酌シテ及落ヲ判スルコトヲ得

第四十一條 學年試験ニ欠席シタルモノハ落第ト見做ス  
但左ノ各項ニ相當スルモノニシテ豫メ許可ヲ得テ欠席シタルモノハ次學年ノ始ニ追試験ヲ受クルコトヲ得

- 一、各學期品行點七十點以上ノモノ
- 二、各學期學科平均點六十點以上ノモノ

第四十二條 試験ハ各科受持教員之ヲ擔任ス入學試験及學年試験ノ問題ハ院長ノ認

可ヲ受クヘシ

第四十三條 規定ノ試験ニ及第シタルモノニハ別記書式ニ準シ修業證書又ハ卒業證書ヲ授與ス

第四十四條 學科評點及品行點ハ學年ノ終リニ保證人ニ報告ス

第八章 賞 罰

第四十五條 左項ノ一ニ該當スルモノハ學年ノ終リニ之ヲ褒賞ス

- 一 學年試験ニ於テ品行點八十五點以上學力九十點以上ヲ得タル者
- 二 學年試験ニ於テ品行點八十五點以上ヲ得タルモノ
- 三 學年試験ニ於テ學力點九十點以上ヲ得タルモノ

第四十六條 平素品行不良ノモノ及本院ノ規則命令ヲ遵守セサルモノハ左ノ項目ニ依リ之ヲ懲罰ス

- 一 譴 責
- 二 禁 足 懺 悔
- 三 停 學
- 四 退 學

第四十七條 所犯ノ情狀輕キモノハ之ヲ説諭シ尙改メサルモノハ譴責ニ處ス

第四十八條 再三譴責ヲ受ケ尙改メサルモノ及所犯ノ情狀重キモノハ其犯狀ノ輕重ニ從ヒ三日以上二週間以内ノ外出ヲ禁シ若クハ期間内毎日放課後一時間宛院内ニ於テ懺悔セシム

第四十九條 二回以上禁足及懺悔ノ罰ヲ受タルモノ又ハ之ヲ受ケサルモノト雖所犯情狀ノ輕重ニ依リ停學又ハ退學ヲ命ス

但停學ハ三日以上一ヶ月以内教場ニ入ルコトヲ禁スルモノトス

第五十條 總テ罰ニ處セラレタルモノハ之ヲ院内ニ揭示シ禁足以上ノモノハ保證人ニ通知シ停學以上ノモノハ更ニ本人所轄支所及宗務所ニ通知スルモノトス

第五十一條 停學又ハ退學ノ處分ヲ受ケタルモノニシテ悔悟ノ情狀特ニ著シキモノハ其處分ヲ解クコトアルヘシ

但此場合ニハ本人所轄支所及宗務所ニ通知ス

第九章 學生心得及寄宿舎

第五十二條 本院ノ學生ハ左ノ項目ヲ遵守スヘシ

- 一 佛祖ノ訓誡ヲ奉體シ教育勅語ノ趣旨ヲ服膺シ以テ道德ヲ修養スルコト
- 二 言行ヲ慎ミ學業ヲ勵ミ和敬ノ風儀ヲ修ムヘキコト
- 三 其他學生タルノ本分ヲ守リ其體面ヲ汚スヘカラサルコト

第五十三條 本院學生ハ必ス寄宿舎ニ入舎スヘキコト  
 但特別ノ事情アルモノハ院長ノ許可ヲ得テ通學スルコトヲ得  
 第五十四條 寄宿舎規定ハ院長別ニ之ヲ定ム

第十章 補則

第五十五條 本則ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 第五十六條 本則實施上必要ナル事項ハ細則ヲ以テ管長之ヲ定ム  
 智山勸學院本科學科程度表

科目	學年		時間	科目	學年		時間
	第一	第二			第一	第二	
宗乘	宗義綱要	五	每週	宗乘	宗義綱要	五	每週
	論議				論議		
餘乘	小乘學	四	每週	餘乘	小乘學	四	每週
		三				三	
哲學	論理學	二	每週	哲學	論理學	二	每週
	心理學	二			心理學	二	
	東洋哲學	二	每週		東洋哲學	二	每週

合計	語學		宗教	歷史	西洋哲學史	西洋哲學史	純正哲學
	英	梵					
二六	四	二		三	二	二	三
	英	梵		支那佛教史		三	
	四	二				三	
	英	梵		日本佛教史		三	
	四	二	宗教學及			三	
	英	梵	宗教史			三	
	四	二				三	
二六	四	二				三	

智山勸學院研究科學科程度表

科目	學年		時間	科目	學年		時間
	第一	第二			第一	第二	
宗乘	宗義精要	一〇	每週	宗乘	宗義精要	一〇	每週
	論議				論議		
餘乘	各宗精要	五	每週	餘乘	各宗精要	五	每週

合計	一五	一五
----	----	----

智山勸學院豫科學科程度表

科目	學年		前	期	後	期	每週時間
	前	後					
宗乘	論	真言宗綱要及教史	六	真言宗綱要及教史	六	論	六
餘乘	各宗大意	佛教略史	六	各宗大意、佛教略史	六		六
哲學	哲學概論	概論	三	哲學概論	三		三
國語	講	讀	二	講	二		二
漢文	講	讀	三	講	三		三
語學	英	語	六	英	六		六
修身	佛教倫理	倫理	二	佛教倫理	二		二

傳授	聲明、法式	二	聲明、法式	二
合計		三〇		三〇

智山勸學院撰科學科程度表

宗乘	第一年		第二年	第三年	第四年	每週時間			
	真言宗綱要及教史 <th>論議 <th>宗義綱要 <th>判教要義 <th>宗義精要 </th></th></th></th>	論議 <th>宗義綱要 <th>判教要義 <th>宗義精要 </th></th></th>					宗義綱要 <th>判教要義 <th>宗義精要 </th></th>	判教要義 <th>宗義精要 </th>	宗義精要
餘乘	各宗大意	佛教略史	六	小乘學	六	三乘學	六	一乘學	六
哲學	哲學概論	概論	三	東洋哲學	二	東洋哲學	二	西洋哲學	二
漢文	講	讀	三						
傳授	聲明法式		二						
合計			二〇			一五		一五	

入學書式

入學願

何府縣何宗教支所下

何府縣市縣區町村何寺住職又ハ何誰法資

姓名

生年月日

拙僧儀今般智山勸學院何科何年へ入學仕度候條御許可被成下度別紙履歷書並ニ履修校證明證相添へ此段上願候也

右本人

姓名 名印

右師僧(又ハ法類)

何府縣何町村何寺住職

教師 姓名 名印

智山勸學院長教師

前書相違無之ニ付與書候也

何府縣何宗教支所管理

年月日

教師 姓名

名印

履歷書

何府縣何宗教支所下

何府縣市縣區町村何寺住職又ハ何誰法資

姓名

生年月日

- 一 本籍
- 一 學業
- 一 賞罰
- 一 兵役
- 右相違無之候也

年月日

右 姓名

名印

在學證書

貼印  
用紙

拙僧儀今般入學御許可相成候ニ付テハ在學中必ス學則ヲ遵守仕ルヘク此段誓約候也

本人

年月日

姓

名印

前書何誰一身上ニ關スル事件ハ拙者等責任ヲ以テ一切引受ケ申スヘク右保證候也

右師僧(又ハ法類)

何府縣市郡區町村何寺住職

保證人 姓

名印

京都市何區町何寺住職

保證人 姓

名印

智山勸學院長教師、、、殿

修業證及卒業證書式

修業證

校印

本院何科第何年ノ學業ヲ修了シタルコトヲ證ス

姓

名

年月日

智山勸學院

第何號

卒業證

校印

本院所定全科ノ學業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

契印 年月日

智山勸學院長

教師

姓

名印

教育會規則 明治四十年十二月廿日發布

第一條 本派教育ノ進連ヲ謀ランガ爲メ教育會ヲ置ク

第二條 教育會ハ教育ノ方法其他教育ニ關スル重要事項ニ付キ管長ノ諮問ニ應シ意

教育會

見ヲ開伸ス

第三條 教育會ハ隔年一回之ヲ開ク

但シ必要ノ場合ニハ臨時會ヲ開クコトヲ得

第四條 教育會ハ會長一名委員六名ヲ以テ組織ス

第五條 會長ハ宗務所教學課長ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 委員ハ學校職員中ヨリ一名其他教育ニ經驗アルモノ五名管長之ヲ特任ス

第七條 委員ノ任期ハ六ケ年トス

第八條 教育會ハ教育ノ事項ニ付キ管長ニ建議スルコトヲ得

第九條 教育會ニ幹事一名書記一名ヲ置ク

第十條 幹事ハ教學課屬員書記ハ宗務所書記ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條 會長ハ決議ノ事項ヲ管長ニ具伸ス

第十二條 委員ノ施設日當宿泊料ハ本派規定ノ第三等額ヲ給シ會長及幹事書記ニハ事務ノ繁簡ニ依リ應分ノ慰勞ヲ給スルコトヲ得

宗意安心講習規則 明治四十年十二月廿日發布

第一條 本派ノ教義闡揚ヲ期センカ爲メ巡回教師ヲシテ各地方ニ巡回セシメ宗意安

心ノ講習ヲナサシム

第二條 本派僧侶ニシテ本講習ニ正當ノ理由ナクシテ出席セサルモノハ説諭ヲ加ヘ

尙之ニ應セサルモノハ管長ニ具伸シ處分ヲ乞フモノトス

權少僧正以上ノモノ及六十歳以上ノモノハ出席隨意タルヘシ

第三條 講習ノ期日ハ一ケ所凡ソ一周間トス

但シ必要ノ場合ハ期日ヲ延長スルコトアルヘシ

第四條 地方ノ情況ニ依リニ宗務支所合同シテ開設スルモ之ヲ妨ケス

第五條 巡回教師ハ左表ノ等級ニ依リ權大僧都以上ノ教師中管長之ヲ命ス

等	級	一	等	二	等	三	等
教師		權中僧正以上		權少僧正以上		權大僧都以上	

第六條 巡回教師ニハ左表ニ依リ俸給ヲ支給ス

等	級	一	等	二	等	三	等
年	額	三百九十六圓		三百三十六圓		三百圓	



旅費ハ三等額ニ準ス

第七條 巡回教師ハ時宜ニ依リ本派僧侶ニ對シ宗意安心ノ試験ヲ執行スルコトヲ得  
試験ニ合格シタルモノハ教師等級又ハ布教師等級ノ昇等ヲ管長ニ具申スルモノト  
ス

第八條 本講習ニ對シテハ菩提院結衆管理副管理及地方布教師ハ獎勵并ニ取締上其  
責ヲ有ス

第九條 本講習ニ關スル經費及巡回教師地方滞在經費ハ其地方ノ負擔トス

第十條 本規則施行上必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 本規則ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三 留學生規則

第一條 留學生ハ宗務長ニ於テ宗門上須要ノ學術ヲ研究セシメンカ爲中學校勸學院  
各卒業ノ者若クハ之ト相當セル學力ヲ有スル者ヲ選抜シ所修ノ學科ヲ指定シ留學  
ヲ命スルモノトス

第二條 留學生ノ期限ハ一定ノ修業年限アルモノヲ除キ滿二ケ年トス  
但學科ノ難易ニ依リ伸縮スルコトヲ得

第三條 留學生ハ品行方正身體健全ニシテ指定セラレタル年限中修學シ得ヘキ者ニ

限ル

第四條 留學生ニハ其留學スヘキ地ノ實況ヲ商量シ別表ニ依リ學資ヲ支給ス

第五條 留學生タラント欲スル者ハ第一號書式乃至第四號ノ願書履歷書及誓約書ヲ  
調製シ所管宗務支所ヲ經由シ宗務所ニ提出スヘシ

第六條 保證人ノ内死亡其他保證人ニ適セサル事故生シタル者ハ更ニ保證人ヲ立ツ  
ヘシ

第七條 留學生ハ宗務所ノ許可ヲ得スシテ指定セラレタル學科又ハ土地ヲ變更スル  
コトヲ得ス

第八條 留學生ハ所修ノ學科卒業後又ハ留學期限後ハ四ケ年以上指定セラレタル宗  
門ノ職務ニ従事スル義務ヲ有ス

第九條 留學生ハ品行不良又ハ學業怠惰若クハ留學生規則及命令ニ違背シタルトキ  
ハ留學ヲ解除シ其支給シタル學資ハ本人又ハ保證人ヨリ一時ニ返納セシム

第十條 留學生ハ留學中病氣其他避クヘカラサル事故之アルトキハ休學又ハ退學ヲ  
許可スルコトアルヘシ

休學ハ滿一ケ年ヲ越ユルコトヲ得ス

休學期間ハ學資ノ支給ヲ停止ス

(別表)

學資支給表

	年	額	月	額
帝國大學在學者	百五十六圓	十	三	圓
高等學校在學者	百貳十圓	十		圓
他宗其他學校在學者	九十六圓	八		圓
外國留學者				

第一號書式

留學願 (用紙美濃紙)

何府縣何支所下

何府縣郡市町村何寺住職(又ハ何誰法資)

氏名

拙僧儀何々志願ニ付御可許被下度御採用ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ誓テ本派教學ニ從事仕候仍テ履歷書相添ヘ保證人連署此段奉願候也

年月日

本人

氏名 印

保證人(保證人一名ハ父兄親族一家ヲ爲シ身元確實ナル者ヲ要ス)

府縣郡市町村番地(寄留)

氏名 印

同師僧(又ハ法類(一寺住職以上ノ者ヲ要ス))

教師 氏名 印

新義真言宗智山派

宗務長 氏名 殿

前書ノ趣調査ノ處相違無之候也

府縣何宗務支所管理

教師 氏名 印

年月日

第二號書式

履歷書 常ノ通リ

留學生

第三號書式

印紙

證

拙僧儀留學生ヲ命セラレ候ニ付テハ留學生規則及其他命令ヲ遵守シ萬一同規則ニ違背シ又ハ不都合ノ行爲有之學資ノ償還ヲ命セラレタル場合本人又ハ保證人ニ於テ速ニ悉皆償還可仕候也

何府縣郡市町村何寺住職(又ハ法資)

本人氏名印

何府縣郡市町村何番地(父兄親戚身元確  
實ナル者ヲ要ス)

保證人氏名印

何府縣郡市町村何寺住職(師僧又ハ法類)

同教師氏名印

新義真言宗智山派宗務長

氏名殿

第四號書式

印紙

誓約書

拙僧儀今般何々留學生御許可相成候ニ付テハ本派留學生規則及教示命令等ハ堅ク遵守可仕ハ勿論且成業ノ上ハ御所ノ命令ニ從ヒ本派ノ公務ニ從事シ屹度布教興學ノ本分ヲ盡シ可申候仍テ誓約證差上候也

肩書同上

年月日 本人氏名印

同 保證人氏名印

同 同 氏名印

新義真言宗智山派宗務長

氏名殿

留學生

第三輯 教令及所屬寺院

宗教所位置ノ件

明治三十三年八月十一日甲第四號達

本派宗務所ヲ東京市芝區愛宕町壹丁目四番地ニ設置候

智山派僧侶死亡者届出ノ件

明治三十四年三月十日番外達

本派僧侶ニシテ死亡ノ者往々届出ラ意リ不都合不勘候條死亡ノ節ハ法類（法類無之者ハ組寺又ハ本寺）并ニ檀徒總代又ハ信徒總代ノ連署ヲ要シ埋葬認許證ノ寫相添ヘ三日以内ニ屹度可届出

但非住職ノ者ハ檀徒及信徒總代ノ連署ヲ要セス

師僧死亡後更ニ師僧相定メ届出ノ件

明治三十四年三月一日番外達

本派僧侶徒弟ニシテ師僧死亡後更ニ師僧ヲ定メス其儘ニ差措者有之取扱上不都合不勘候條一寺住職任命以前ニ係ルモノハ更ニ師僧相定メ可届出

傳法灌頂及大曼荼羅供修行ハ管長ノ臨鑑ヲ請フヘキ件

明治三十四年十月五日乙第三號達

本派ノ寺院ニ於テ傳法灌頂及大曼荼羅供等ノ大法會ヲ修行セントスルトキハ管長ノ臨鑑證明ヲ請フ儀ト心得ヘシ

但兩大會已講ノ者ニシテ權少僧正以上ノ教師ニ代理ヲ命セラル、コトアルヘシ

特別保護建造物及國寶監守方注意ニ關スル件

明治三十五年三月十七日甲第壹號達

古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタル物件監守方ニ關シ別記ノ通り内務省宗務局長ヨリ通知ノ次第モ有之候條該物件ヲ有スル寺院住職ハ平素嚴重ニ保護シ亡失毀損セシメサル様監守方深ク注意スヘシ若シ怠慢ニヨリ該物件ヲ亡失毀損セシメタルニ於テハ管理者タル住職ハ宗規ニ照シ相當ノ懲誠ニ處セララルヘシ

（參考）明治三十五年三月十四日内務省宗甲第四號達ノ内

明治三十年法律第四十九號古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セル物件ノ監守方ニ關シ別紙ノ通り地方官ニ通牒相成候ニ付其宗派ニ於テ該物件ヲ有スル寺院ニ對シ相當注意相成度命ニ依リ此段申進候也

(別紙)明治三十五年三月十四日內務省宗甲第四號達

明治三十年法律第四十九號古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セル物件ハ同法ノ規定ニ依リ神職若クハ住職ニ於テ之ヲ監守スヘキモノナリ而シテ監守者ノ怠慢ニ由リ該物件ヲ亡失毀損セシメタルトキハ神職住職ハ其神社寺院ノ管理者トシテ其責ヲ免カレサルハ勿論同法ニ依リテ處罰セラルヘキカ故ニ監守者ハ平素之ヲ監守スルニ就キ相當注意ヲ怠ラサルヘシト雖トモ該法發布以來漸ク年ヲ重ヌルニ從ヒ自然監守ヲ疎略ニスルモノナキヲ保シ難シ此ノ如ニシテ若シ該物件ヲ亡失毀損スルカ如キコトアリテハ監守者ノ責任如何ニ關セス其神社寺院ニ在テハ傳來ノ由緒面目ヲ失フノミナラス皇國ノ歴史美術ノ資料ヲ減損スルニ至リ不都合ノ儀ニ候條豫メ特別保護建造物及國寶ヲ有スル神社寺院ニ訓示シ監守上遺憾ナキ様特ニ注意警戒セシメラレ度命ニ依リ此段申進候也

明治三十八年十月二日番外

明治三十五年七月十二日協定ニ係ル公稱寺院協定規約書ハ關係各派管長ノ合議ニヨリ更ニ滿三ヶ年間繼續ス

明治三十九年廿四日甲第七號

住職進退ノ申請ニ付テハ檀信徒總代ノ連署ヲ要セスト雖トモ關係者不行届ノ爲メ他日寺檀ノ間ニ紛議ヲ生スル如キコトアリテハ自然寺門ノ不利ナルノミナラス僧侶ノ威信ニ關シ大ニ不都合ニ候條深ク留意致スヘシ

根來山大傳法院寺法

根來山大傳法院ハ興教大師唱寂ノ靈地ニシテ新義真言宗智山派同豊山派ニ屬スル寺院ナルヲ以テ茲ニ智豊兩派管長商議ノ上祖山ノ慣例ニ基キ時運ニ鑑ミ左ノ六章十二條ヲ協定シ以テ根來山大傳法院ノ寺法ト爲ス

第一章 總則

第一條 根來山大傳法院ハ大本山ト稱シ新義真言宗智山派全豊山派ノ兩派ニ於テ共同維持スヘキモノトス

第二章 住職

第二條 大傳法院ニハ專任住職ヲ置カス智豊兩山管長各滿二ヶ年宛輪次交替ニテ兼務スルモノトス

第三條 大傳法院住職ハ古規ニ依リ座主ト稱ス

第三章 末寺

根來寺法

第四條 大傳法院ノ末寺々院ハ別表ノ如ク智豊兩派ニ分屬シ各派宗制寺法ニ依リ之ヲ統理ス

但大傳法院ト其末寺トハ智豊兩派カ宗制寺派ニ依リ各派内ニ於テ末寺ヲ有スル寺院其末寺トノ間ニ有セシメタル權義ハ同一ノ權義ヲ有セシム

第四章 執事

第五條 大傳法院ニ執事二名ヲ置キ座主ヲ補佐シテ大傳法院ノ事務ヲ處辨セシメ其任期ハ滿二ケ年トス

但再任ヲ妨ケス

第六條 執事ノ内一名ハ智山派管長ニ於テ一名ハ豊山派管長ニ於テ各其派内權中僧都以上ノ者ノ中ヨリ薦舉シ座主ノ名義ヲ以テ之ヲ任命ス

第七條 智山派管長座主タル間ハ豊山派管長薦舉ノ執事主任トナリ豊山派管長座主タル間ハ智山派管長薦舉ノ執事主任トナリ事務ヲ擔當スルモノトス

第八條 智山派管長薦舉ノ執事ハ其執事タル間山内律乘院ニ住職又ハ兼務住職豊山派管長薦舉ノ執事ハ其執事タル間同蓮花院住職又ハ兼務住職ニ就職スルコトヲ得

第九條 執事ニ於テ不都合ノ行爲之アルトキハ各其薦舉ノ區分ニ依リ所屬派宗ノ懲罰條例ニ照シ之ヲ處分ス

第五章 會計

第十條 大傳法院ノ經費ハ歲計豫算ヲ以テ座主之ヲ定メ智豊兩派管長ノ承認ヲ經ヘキモノトス

第十一條 大傳法院ノ基金ノ保管法及會計ニ關スル細則ハ座主之ヲ定メ智豊兩派管長ノ認可ヲ經ヘキモノトス

第六章 補則

第十二條 本寺法實施ニ付必要ナル細則ハ座主ニ於テ之ヲ定メ智豊兩派管長ノ認可ヲ經テ行フヘキモノトス

眞言宗各派所屬寺院協定書

一 本協定書ニ公稱寺院ト稱スルハ眞言宗各宗派總本山乃至準別格本山ノ直末以下ノ寺院ニシテ新義眞言宗智山派又ハ豊山派ヲ公稱スル寺院ヲ便宜上略稱ス智山派又ハ豊山派ヲ公稱スルハ新義ノ教相ニ基キ本末ノ關係ハ事相ノ法流ニ依ル

一 本協定書ニ眞言各宗派ト稱スルハ眞言宗及全御室派全高野派全大覺寺派ノ一宗三派ヲ便宜上略稱ス

一 本協定書ニ單ニ智山派又ハ豊山派ト稱スルハ新義眞言宗智山派ト新義眞言宗豊

山派ト便宜上略稱ス

第一條 眞言宗各宗派總本山大本山正準別格本山ノ直末以下ノ寺院ニシテ新義新言宗智山派又ハ同豊山派ヲ公稱スル寺院ノ住職ハ明治參拾貳年拾月拾貳日附ヲ以テ各大本山住職間ニ於テ締結セシ盟約ニ依リ眞言宗各宗派管長之レカ任免ヲ爲スモノトス

第二條 前條ノ公稱寺院ニ住職ヲ任免セントスル時ハ新義眞言宗智山派公稱ノ寺院ハ智山派管長同豊山派公稱寺院ハ豊山派管長ノ檢知ヲ經ルモノトス檢知ヲ經サルモノハ其理由ノ如何ニ拘ラス之カ住職ヲ任免スル事ヲ得ス

第三條 前條ノ住職任免ニ關シ其寺院關與人ヨリ紛擾ヲ生シタル時ハ檢知ヲ爲シタル當該管長之ヲ處斷ス

第四條 住職任免及ヒ其ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

第五條 特命住職ニ關スル手續ハ第二條及第三條ヲ準用ス

第六條 住職任免後直ニ本寺ノ繼目法流印可ヲ稟承スヘキモノトス但シ六ヶ月ヲ經過スルヲ得ス

第七條 公稱寺院ノ住職又ハ徒弟ノ教師進退ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豊山派公稱寺院ハ豊山派管長之ヲ行フ

但シ懲戒處分ニ依リ教師降級又ハ褫奪シ住職資格ニ異動ヲ生スル場合ハ其理由ヲ具シ眞言宗各宗派關係管長ノ承認ヲ要ス

第八條 懲戒處分ニ依リ住職停職又ハ住職罷免セントスル場合ハ其理由ヲ具シ智山

派公稱寺院住職ハ智山派管長豊山派公稱寺院住職ハ豊山派管長ノ承認ヲ要ス

第九條 色衣被着ノ允可ハ智山派公稱寺院住職ハ智山派管長豊山派公稱寺院住職ハ

豊山派管長之ヲ專行ス

第十條 官衙公廳ニ提出ノ諸願ニ對スル副仲ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豊山派公稱寺院ハ豊山派管長ノ署名ヲ以テ之ヲ行フ

但シ本寺連署ノ外其本寺ノ屬スル總大本山住職ヨリモ之カ副仲ヲ爲スモノトス第十一條 公稱寺院ニ賦課スル宗費ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ徵集ス

- 一 智山派又ハ豊山派ノ教學費事務費其他ノ宗費ハ智山派又ハ豊山派ノ定ムル宗規ニ依リ各其派ニ於テ之ヲ徵集スルモノトス
- 二 眞言宗各宗派ノ事務費ハ一箇寺金二十錢ノ程度ヲ以テ之ヲ徵集スルモノトス

- 三 眞言宗各宗派ノ事務費ハ都合ニ依リ智山派又ハ豊山派ニ其徵集ヲ囑托スル事ヲ得

公稱寺院

第十二條 公稱寺院ノ寺格昇降ハ談林格ヲ除クノ外眞言宗各宗派管長ニ於テ之ヲ允可ス

但シ本條ノ場合ニ於テハ智山派又ハ豐山派其派關係派長ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第十三條 公稱寺院ノ内談林格及寺院等級ノ昇降ハ智山派公稱寺院ハ智山派管長豐山派公稱寺院ハ豐山派管長之ヲ專行ス

第十四條 公稱寺院ノ住職任命及寺格昇降ノ禮祿ハ眞言宗各宗派管長ニ於テ之ヲ定ム

但シ禮祿ノ額位ハ公稱寺院ノ所屬管長ト協議ノ上別ニ一定ノ方法ヲ定ム

第十五條 眞言宗各宗派及智山派又ハ豐山派ノ教師ニシテ轉派ヲ願出ル者ハ其所屬宗派管長ノ承認ヲ要ス 轉派許可ノ上ハ元ノ教師ニ相當スル教師ニ補スルモノトス

第十六條 本規約ニ基キ公稱寺院取扱法ヲ編成シ主務大臣ノ認可ヲ得タル日ヨリ滿三箇年ヲ以テ本規約ノ時効期間トス

第十七條 本規約時効滿了以前少ナクモ二箇月以内ニ關係管長ノ協商會ヲ開設ス

此場合ニ於テハ便宜上關係宗派各別ニ協商會ヲ開設スルモ妨ケス

第十八條 前條ノ場合ニ於テ協商會成立セシテ散會シタル時其散會シタル日ヨリ

記算シ更ニ參箇月以内ニ協商會ヲ開設シ之ヲ確定ス

但シ此場合ニ於テ時効滿了ストモ本條ノ協商會成立ニ至ル迄本規約ハ有効トス  
第十九條 時効期間中タリトモ本規約ノ改正及追加其他必要ノ場合生シタル時ハ更ニ協商會ヲ開設スル事ヲ得

補則

第二十條 明治參拾貳年拾月拾貳日附締結セル盟約及附帶契約ハ本協定ノ條項ニ抵觸セサル條項ハ總テ有効トス

第二十一條 本協定書ハ六通ヲ作製シ各關係管長署名捺印ノ上眞言宗及同御室派同高野派同大覺寺派新義眞言宗智山派同豐山派ニ各壹通交換シ置クモノナリ  
明治參拾五年七月貳日

眞言宗高野派管長

一等教師 大僧正 原 心猛

同 御室派管長

一等教師 大僧正 泉 智等

同 大覺寺派管長

一等教師 大僧正 高幢 龍暢



代泉 智等

真言宗長者

一等教師 大僧正 長 宥匡

新義真言宗智山派管長

大僧正 瑜伽 教如

同 豐山派管長

大僧正 權田 雷斧

因ニ明治三拾二年拾月各本山住職間ニ締結セル盟約書並ニ附帶契約書參照ノ爲左ニ掲載ス

盟約書

今回各大本山各立ノ目的ヲ以テ古義諸大本山末ニシテ新義派公稱寺院ニ係ル取扱方法ヲ約スル左ノ如シ

第一條 古義諸大本山ノ末寺及門徒等ニ至ルマテ總テ古義其大本山ニ於テ住職ノ任免ヲ專行スルモノトス  
但シ住職ニ任スル場合ニハ必ス其關係談林ノ副伸ヲ要スルモノトス

第二條 古義諸大本山ノ末寺及門徒寺ニ至ルマテ新義其大本山ニ於テ教師ノ任免ヲ專行スルモノトス

第三條 事務課金ハ古義其大本山ニ於テ徵集シ宗費ハ新義其大本山ニ於テ徵集スルモノトス  
但事務費ハ事情ヲ酌量シ負擔ノ重キヲ成サ、ルヲ旨トシ双方共末寺一般ニ課スルノ半額ヲ課シ時宜ニ依リ徵集ヲ其能屬本山ニ依頼スル事アルヘシ

第四條 新義派公稱ノ談林等ノ末寺ニシテ古義ノ寺院アル向ハ古義其大本山ニ於テ該寺院ノ住職并ニ教師共任免ヲ專行スルハ勿論教學事務費共其大本山ヨリ之ヲ課スルモノトス

第五條 古義各大本山ノ末寺住職ニシテ色衣被着ヲ請フモメアルトキハ新義派能屬本山ノ證明書ナキモノハ之ヲ允可セス

但シ進學衆ニシテ許可ヲ得シモノハ其取扱従前ノ例ニ依ル

第六條 談林ノ昇降ハ新義能屬本山ニ於テ之ヲ允可シ其他ノ寺格昇降ハ古義其本山ニ於テ之ヲ允可ス

第七條 各大本山及別格本山中其離加末ノ協議アルトキハ他ヨリ故障ヲナサ、ルモノトス

第八條 前條ノ外時勢ノ變遷ニ依リ異動ヲ生シ又ハ互ニ不便ヲ感スルトキハ双方協議ヲ遂ケ盟約ヲ改正シ或ハ條目ヲ追加スルモノトス

第九條 第一條ニ掲クル寺院ハ此際智豐兩大本山ニ於テ部屬ヲ定メ古義諸大本山ニ於テ之ヲ承認ス

右九箇條ハ今回各山共委員ヲ選出シ之ヲ協定セシメ茲ニ各本山々々主協定ノ條目何レモ至當ナルモノト相認メ各記名調印シ之ヲ交換シ後日ノ龜鑑トス

明治三十三年十月十二日

金剛峰寺座主大僧正原心猛代理

- 醍醐寺座主 權大僧正 寺島 眞應
- 隨心院門跡 權大僧正 和田 智滿
- 泉涌寺長老 大僧正 鼎 龍曉
- 仁和寺門跡 權大僧正 釋 雲照
- 大覺寺門跡 權大僧正 高幢 龍暢
- 智積院化主 權大僧正 瑜伽 教如
- 長谷寺化主 權大僧正 慶雲 海量
- 教王護國寺別當 中僧正 照岡 高淳

明治三十二年十月十二日各大本山ノ交換セシ盟約ニ附帶スル契約左ノ如シ

一 主務大臣ノ允可ヲ得テ各大本山獨立シ以テ別ニ管長ヲ置クモ新義公稱ノ古義末寺院ハ古規ヲ踏襲シ智山派又ハ豐山派ト稱シ其派ノ宗制寺法ヲ遵守スルモノトス

二 但宗制寺法制定ノ場合ニ古義本山末寺ニ對スル制度ハ双協商ノ上之ヲ定ム前條ノ如ク各大本山ニ於テ獨立ノ允可ヲ得テ宗制寺法ヲ發布スルモノ本盟約ニ抵触スル條項ハ總テ無効トス

三 古義末派ニシテ新義派公稱ノ寺院ハ智豐兩山交衆ノ僧侶ニアラサレハ住職スルコトヲ得ス

四 本月十二日附本盟約書第六條ニ左ノ但書ヲ脱漏セシニ依リ茲ニ之ヲ追加ス但シ智豐兩大本山ノ證明ヲ要ス

五 新義派智豐兩大本山派號ヲ改ムルモノ本盟約書ニ異動ナキモノトス右附帶ノ契約如件

明治三十二年十月十二日

- 高野山委員 中僧正 鎌田 觀應
- 西京各大本山委員 權少僧正 森岡 壽算

同	權少僧正	泉	秀明
智山委員	少僧正	濱田	法尊
同	大僧都	青木	宥如
豐山委員	權少僧正	尾川	照圓
同	權大僧都	澤田	秀元
交涉委員			
醍醐寺塔頭金剛王院兼務住職			
醍醐寺執事	權少僧正	宮寺	普學
同	大僧都	平之	亮禪

真言宗各派關係寺院取扱法及細則

第一章 總則

第一條 本法ハ真言宗々典第八十四條同高野派宗制第八十三條同御室派同大覺寺派

宗制第八十二條智山派及豐山派宗憲第八十九條ニ依リ之ヲ定ム

第二條 本法ニ公稱寺院ト稱スルハ真言宗各宗派總本山乃至準別格本山ノ直末已下

寺院ニシテ新義真言宗智山派又ハ同豐山派ヲ公稱スル寺院ヲ略稱ス

智山派又ハ豐山派ヲ公稱スルハ新義ノ教相ニ基キ本末ノ關係ハ事相ノ法流ニ依ル

第三條 本法ニ真言宗各宗派ト稱スルハ真言宗同御室派同高野派同大覺寺派ヲ略稱

ス

第四條 本法ニ單ニ智山派又ハ豐山派ト稱スルハ新義真言宗智山派同豐山派ヲ略稱

ス

第二章 住職及檢知

第五條 真言宗各宗派寺院ノ末寺ニシテ智山派又ハ豐山派ヲ公稱スル寺院ノ住職ハ

真言宗各宗派其關係管長之レカ任命ヲ行フモノトス

第六條 前條住職任命ノ場合ニ於テハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豐山派管長之カ

檢知ヲ爲スモノトス

檢知ヲ經サルモノハ住職ヲ任命スルコトヲ得ス

第七條 住職任命ヨリ生スル爭議ハ檢知ヲ爲シタル其派管長ト協議ヲ以テ裁定ス

但主務官廳ノ命令又ハ處分ニ依ル場合ハ此ノ限リニ非ス

第八條 真言宗各宗派其關係管長ニ於テ懲罰條例ニ依リ公稱寺院住職ノ停職又ハ住

職罷免セントスル時ハ事由ヲ具シ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豐山派管長ノ承認



別格本山	金壹百五十圓
準別格本山	金壹百圓
常法談林	金七拾圓
談林	金五拾圓
準談林	金四拾圓
格院	金參拾圓
平格院	金貳拾圓
末寺一色	金貳拾圓
末寺二色	金拾五圓

第七章 副仲

第十八條 公稱寺院ノ官衙公稱ニ對スル願書ノ副仲ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派管長之ヲ爲ス  
但シ本寺連署ノ外總本山又ハ大本山住職ヨリモ副仲ヲ爲スモノトシ其副仲具備ヌルニ非レハ管長ハ副仲ヲ爲ササルモノトス

第八章 宗費並禮祿

第十九條 公稱寺院ニ賦課スル宗費ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ徵集ス

- 一 智山派又ハ豊山派ノ教學費事務費其他ノ宗費ハ智山派又ハ豊山派ノ宗規ニ依リ各其派ニ於テ之ヲ徵集スルモノトス
- 二 眞言宗各宗派ノ事務費ハ壹箇寺金貳拾錢ノ程度ヲ以テ之ヲ徵集スルモノトス
- 三 眞言宗各宗派ノ事務費ハ都合ニ依リ智山派又ハ豊山派各關係宗務所ニ之レカ徵集ヲ囑託スルコトヲ得

第二十條 公稱寺院住職補任禮祿ノ額ハ寺院等級ニ依リ左ノ如ク之ヲ定ム

等	地	一 二 三 等	拾 五 圓
同	地	四 五 等	拾 貳 圓
等	地	一 等	拾 圓
同		二 等	九 圓 五 拾 錢
同		三 等	九 圓
同		四 等	八 圓 五 拾 錢
同		五 等	八 圓
同		六 等	七 圓 五 拾 錢
同		七 等	七 圓

同	八等	六圓五拾錢
同	九等	六圓
同	十等	五圓五拾錢
同	十一等	五圓
同	十二等	四圓五拾錢
同	十三等	四圓
同	十四等	參圓五拾錢
同	十五等	參圓
同	十五等	貳圓五拾錢
同	十七等	貳圓
同	十八等	壹圓五拾錢
同	十九等	壹圓
同	二十等	七拾錢
同	二十一等	已下五拾錢

第九章 轉派

第二十一條 眞言宗各宗派ノ僧侶ニシテ智山派又ハ豊山派ニ轉派ヲ出願スルモノ及

智山派又ハ豊山派ノ僧侶ニシテ眞言宗各宗派ニ轉派ヲ出願スルモノハ其所屬宗派  
管長ノ承認ヲ要スルモノトス  
以上

眞言宗各派關係寺院取扱法細則

第一條 公稱寺院住職ノ資格ハ智山派又ハ豊山派ノ宗規ニ依リ之レカ任命ノ手續ハ眞言宗各宗派ノ宗規ニ依ルモノトス

第二條 公稱寺院ノ住職任免及寺格昇降ノ願書ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派ノ宗務所ヲ經テ之レヲ眞言宗各宗派其關係宗務所ニ差出スモノトス

第三條 公稱寺院住職任免ノ辭令及寺格昇降ノ設狀ハ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豊山派宗務所ニ交附スルモノトス

智山派又ハ豊山派宗務所ハ各其派宗務支所ヲ經テ之ヲ其寺院住職ヘ交附スルモノトス

第四條 公稱寺院住職ヨリ其本山ニ納ムル繼目禮祿ハ左ノ如ク之ヲ定ム

別格	本山	特等壹等	金 參拾圓
同	二等	金貳拾八圓	
同	三等	金貳拾六圓	

公稱寺院

格	準	談	常	準別格本山	
				特等四等	特等五等
院	林	林	林	等地一等	金貳拾四圓
				同二等	金拾五圓
				同三等	金拾四圓
				同四等	金拾參圓
				同五等	金拾貳圓
				等地六等	金拾壹圓
				同七等	金拾圓
				等地八等	金九圓
				同九等	金八圓五拾錢
				同十等	金八圓
				等地十一等	金七圓五拾錢
				同十二等	金七圓
				等地十三等	金六圓五拾錢

門	徒	末	寺	平	格	
					院	院
					等地十三等	金六圓
					同十四等	金五圓五拾錢
					同十五等	金五圓
					等地十六等	金四圓
					同十七等	金參圓
					同十八等	金貳圓
					同十九等	金壹圓
					同二十等	金七拾錢
					等地二十一等	金五拾錢
					同二十二等	金五拾錢
					同二十三等	金五拾錢
					同二十四等	金五拾錢
					同二十五等	金五拾錢

但シ末寺格ニシテ等級二拾一等以下ニ該當スル寺院ハ末寺等級ノ内最下級(二十等)ノ禮祿又末寺格ニシテ十五等以上ノ等級ナルモ十六等ノ禮祿ヲ納付スヘキモノトス平格院以上ノ寺院ニシテ其寺格ト等級ト相一致セサルモノノ取

扱亦之ニ準例ス

第五條 公稱寺院住職ノ本寺繼目禮祿ハ住職補任禮祿ト同時ニ其寺院ノ公稱セル智山派又ハ豐山派宗務所ヲ經テ眞言宗各宗派關係宗務所ニ納付スルモノトス

但シ末寺ヨリ直ニ本寺ヘ繼目禮祿ヲ納ムルヲ便宜トスルモノハ此限りニ非ス

第六條 住職任命後止ヲ得サル事故アリ六ヶ月以内ニ於テ其本寺ノ法流印可ヲ稟承スルコト能ハサルモノハ其事由ヲ具シ延期出願許可ヲ得ヘシ

第七條 眞言宗各宗派僧侶ノ智山派若クハ豐山派ヘ轉派セントスルモノ又ハ智山派

豐山派僧侶ノ眞言宗各宗派ニ轉派セントスル者ハ左項ノ手續ニ依ル

- 一 轉派セントスル者ハ轉派承認願ニ冥加金五拾錢ヲ添付スヘシ
  - 一 加入セントスルモノハ轉派加入願ニ履歷書及禮祿金五圓添付スヘシ
- 以上

第四輯 宗教法令摘要

寺院諸願届書式

○寺院移轉願ノ書式

寺院移轉願

何府縣市郡町村大字何

新義眞言宗智山派

何

寺

當寺本堂及庫裏目下頽破セシモ檀家僅少ニシテ到底維持ノ見込相立タス然ルニ本縣何郡何村何番地何某所有地何坪ヲ移轉地境內トシ該地ニ存在セル建物ヲ以テ本堂庫裏ニ充テ移轉境內地ハ勿論該建物ヲモ併セテ所有者ヨリ當寺ヘ寄附ノ上移轉致シ度候間御許可被成下度別紙相添ヘ此段奉願奉候也

年月日

右何寺住職

右檀家總代 何 三 署  
 本寺法類 連 某

府縣知事宛

附屬書類

教令



- 一 移轉後豫定明細帳
- 二 地所及建物所有者ヨリ本願許可ノ上ハ寺院所有トシテ寄附スヘシトノ書面
- 三 本堂庫裏及境内見取圖面
- 四 移轉後寺院ノ維持方法ヲ記載シタル書面
- 五 管長ノ添書

○寺院廢止願ノ書式

寺院廢止願

何府縣市郡町村大字何

宗派 何

寺

當寺ハ到底維持ノ見込無之候ニ付廢止致度候間御許可被成下度財產ハ別紙ノ通處理致度候併テ御許可相成度此段奉願候也

年月日

右何寺住職

右檀家總代  
本寺法類

何三連

署名 署

府縣知事宛

一 財產處理方法トハ所有ニ屬スル財產ヲ最寄寺院又ハ本寺ノ基本財產ニ寄附スル等ヲ云フ(管長ノ添書ヲ要ス)

(注意)文明十八年以前ノ創立ニ係ル寺院ハ内務省宗務局ノ意見ヲ照會シテ許可ヲ決スルモノトス寺院創立ハ容易ニ許可セラレサルニ付斯ノ如キハ其創設冀望ノ箇所ニ移轉セハ相互ノ便ナラン

○寺院合併願ノ書式

寺院合併願

何府縣市郡町村大字何

宗派 何

寺

當寺ハ到底維持ノ見込無之ニ付何府縣市郡町村大字何宗派何寺へ合併致度候間御許可被成下度財產ハ別紙ノ通處理致度候併テ御許可相成度此段奉願候也

年月日

右寺住職

右檀家總代  
本寺法類

何三連

署名 署

府縣知事宛

教令

(注意)財産ハ當然合併寺院へ歸屬スヘキモノナルニ付特ニ其ノ財産歸屬ノ者ヲ定ムルノ必要アル場合ヲ除クノ外本書式中「財産ハ」以下十八字ヲ除ク(管長添書ヲ要ス)

○本尊變更願ノ書式

本尊變更願

一本尊何々(朱書)

何府縣市郡町村大字何

宗派 何

寺

當寺本尊ハ從來何々ト有之候得共何々書類ニハ明ニ何々ト有之又當寺ニ存在セル教文書ニモ同様記載有之候ニ付前記朱書ノ如ク本尊變更之義御許可被成下度別紙證據書類寫相添へ此段奉願候也

年月日

右寺住職 何

三

名 某

府縣知事宛

附屬書類

一 何々書籍寫

二 古文書寫

三 棟札寫

(管長添書ヲ要ス)

○寺附境內地區增加願ノ書式

寺院境內地區增加願

一官有荒蕪地

幾坪

當寺ハ本縣中有名ノ寺院ニシテ毎年何月何日ノ法要執行ノ際ニハ近郷ヨリ數千人ノ參詣有之候處現境內僅ニ二百坪ニシテ是等ノ參詣人群集雜沓シテ自然官有地ニ侵入スルコト、相成リ候ノミナラス尙法要執行上ニ於テモ境內狹隘ノ爲メ支障少カラス然ルニ前記官有荒蕪地ハ當寺境內ニ接續シ當寺ノ法要執行上ニ於テモ必要ノ箇所ニ有方候間境內へ編入増加ノ儀御許可相成度別紙圖面相添此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

名 某

右寺檀家總代

三

名

府縣知事宛

附屬書類

一境內及官有荒蕪地其他建物ノ位置、法要上必要ナル箇所、參詣道路トシテ必要ナル箇所等ノ明細圖及管長ノ添書

○寺院境內地區變更願ノ書式

寺院境內地區變更願

教令

當寺現境内地何千坪ノ内何百坪何々私設鐵道會社ノ鐵道敷地ニ該當致シ候ニ付別紙  
圖面ノ通り區域變更相成度此段奉願候也

年 月 日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

名 某

府縣知事宛

附屬書類

一境内區域及建物位置鐵道敷地ニ充用セシ箇所等ノ明細圖  
(管長添書)

○寺院境内區域變更并ニ境内佛堂明細張へ編入願ノ書式

寺院境内區域變更并ニ境内佛堂明細帳ニ編入願

何府縣市郡町村大字何

新義真言宗智山派

何

寺

一境内佛堂壹宇(編入出願ノ佛堂)

何々堂貳間半四面境外官有地三反三畝步(實測反別六反步)官有地ノ儘何々寺境内  
へ編入出願ノ分

本尊聖觀世音菩薩 金佛 御丈壹寸八分 (本派某寺願書)

由緒 養老年中建立ノ旨古老ノ口碑ニ傳へアルモ寛政年中何々 火災ニ罹リ記

録由緒等灰燼ニ歸シ事跡不詳元祿二年建築ノ棟札アリ

牛頭天王堂 一間四面境外民有地山林二畝步民有ノ儘 編入出願ノ分

本尊 牛頭天王 木像

由緒 不詳

右何々堂ハ官有地何町步ノ箇所ニ存在シ之候該佛堂ハ往古當寺境内佛堂ニ有之候處  
當寺明細帳ノ脱漏ト共ニ脱漏致シ居リ候處當寺ハ明治三十二年二月二日指令甲第九  
七號ヲ以テ明細帳ニ編入御許可相成候へトモ該佛堂ハ編入漏ト相成居候ニ付該佛堂  
境内地六反步ヲ當寺境内ニ編入シ該堂ヲ當寺境内佛堂トシテ編入相成度該堂ノ存在  
ニ關シテハ元祿二年建築ノ棟札ニモ別當何寺住職何々本寺何々寺住職何々ノ名前モ  
記載有之候ノミナラス建物等モ別紙圖面ノ通り今代ノ建築ニアラサルコトハ其ノ古  
色等ニ於テ一目明瞭ニ有之候又牛頭天王堂ハ當寺境外所有地ニ有之由緒等不明ニ有  
之候へトモ是亦其ノ建物等ニ依レハ古來ヨリ存在セシモノニ有之候ニ付該堂宇ノ存  
在セルニ畝歩ハ民有地ノ儘當寺境内へ編入相成該堂ヲモ境内佛堂トシテ編入相成度  
別紙圖面并棟札寫管長副申書相添此段相願候也

年月日

右何々寺住職 何 某  
右寺檀徒惣代 三 名

府縣知事宛

○佛堂明細帳訂正願ノ書式

佛堂明細帳訂正願

何縣何町村大字々

一何々堂 堂宇間口 七尺 奥行 八尺 假堂

右佛堂ハ明治十二年書上ノ明細帳ニハ堂宇無之旨記載セシモ右ハ當時假堂ニ付假堂

ハ明細帳ニ記載スベキモノニ無之ト誤解致シ記載セザリシ儀ニテ今更不都合ノ次第ニ候得共前記ノ通り明細帳訂正被成下度此段奉願候也

年月日

右何々堂受持

何寺住職 何 某  
右信徒惣代 三 名

府縣知事宛

○寺院境内樹木伐採願ノ書式

寺院境内樹木伐採願

一杉立木 目通 五尺 何本 (明治三十六年三月二十六日内務省令第三號 第三條ノ範圍即チ總樹木ニ對シ其ノ一割)

一松立木 目通 三尺 何本 (同上ノ範圍即チ總樹木ニ對シ其ノ二割)

右ハ當寺境内地ニ存在スル樹木ニシテ別ニ風致木ニモ無之ニ付今般當寺本堂及庫裏修繕用トシテ伐採致度候間御許可被成下度別紙圖面相添へ此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職 何 某  
右 檀家總代 三 名

府縣知事宛

附屬圖面ハ現境内ノ地圖伐採セントスル樹木ノ位置ヲ朱書シ且ツ總樹木ノ數ヲ類別載記ヲ要ス

(注意)境内官有地ノ木竹ハ明治三十六年三月二十六日内務省令第二號第三條第一項ニ限定セラレタル建造物修用ノ外伐採スルコトヲ得ス而シテ其ノ伐採モ同省令第三條第一項第一號第二號ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス然レトモ枯損木其ノ他障碍木等ハ事實果シテ然ルニ於テハ伐採許可セラルヘシ

○寺院明細帳訂正願ノ書式

教令

寺院明細帳訂正願

何府縣市郡町村大字何

宗派 何 寺

一境内地八百坪

右當寺境内地ハ明細帳ニ六百坪ト有之候モ事實誤謬ニシテ全ク前記八百坪ナルコトハ官有土地臺帳并ニ今般實測致候處相違無之ニ付明細帳訂正ノ義御許可相成度此段相願候也

年月日

右寺住職 何 某  
右寺檀家惣代 三

府縣知事宛

○寺院所有地賣却願ノ書式

寺院所有地賣却願

何郡何町村大字何番地字何々

一田 何反何畝歩

右土地ハ當寺境外所有地ニ有之候處本堂改築ノ儀何年何月何日御許可ヲ得テ目下工業中ノ處折柄圖ラズ本年ノ凶作ニ遭遇セシ爲メ金融逼迫從テ寄附金等モ無之此儘工事ヲ中止スルモ遺憾ノ至リニ有之候間前記地所賣却ノ上改築費ニ補充仕度候間御許

可被成下度此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職 何 某  
右寺檀家總代 三

府縣知事宛

○寺院買入ノ土地ヲ明細帳ニ記入願ノ書式

寺院買入ノ土地ヲ明細帳ニ記入願

何郡町村大字何番地字何

一田 何反歩

右土地ヲ當寺へ買入明治何年月日登記致シ候間明細帳ニ境外所有地トシテ御記入被成下度此段相願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

宗派何寺住職 何 某  
右 檀家總代 三

府縣知事宛

○佛堂上地官林境内編入願ノ書式

教令

境内編入願

何府縣郡市町村大字何字何番何森林(原野)何町歩ノ内  
一實測面積何反歩

右ハ當佛堂ノ上地森林ニ有之候處當佛堂ハ現境内僅ニ百二十坪ニシテ境内地ニハ風致木至テ僅少ニ有之然ルニ上地林ハ佛堂境内地へ接續シ松杉蒨蔚トシテ其ノ地種目ノ如何ヲ知ラザルモノハ凡テ當佛堂ノ境内ナリト信ジ居ル有様ニシテ當佛堂ノ風致上尤モ必要ナル箇所ナリ若シ一朝此ノ樹木ヲ伐採スルアラシカ當佛堂ハ恰モ裸躰ノ如キ有様トナリ佛堂ヲ失墜スルノ恐アリ斯ノ如キ事由有之候ニ付當佛堂ノ境内ニ編入之義御許可相成度別紙實測圖面相添此段相願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何

何堂受持

何寺住職 何

右信徒惣代 三

某名

内務大臣

農商務大臣 宛

附屬書類

一三斜法ニ依ル實測圖(但上地官林中編入セントスル箇所ノミ實測)  
二堂宇建物ノ位置其ノ建物ト上地林ト離隔間數現境内地及上地林周圍ノ地種地目ヲ記載シタル見取圖面

○寺院上地官林境内編入願ノ書式

境内編入願

何府縣何郡市町村大字何字何番

森林(原野)何町何反歩ノ内

一實測面積壹町四反三畝二歩 (埼玉縣川越寺ヨリ出願書式)

右境外上地林壹町四反三畝二歩ハ當院境内ノ風致上等必要ニ付官有地ノ儘現境内へ編入相成度左ニ境内編入ノ事由ヲ申述候

抑モ當院ノ由緒ハ世人ノ知ル處ナルヲ以テ爰ニ詳細陳述セザルモ川越ノ大師ト云ハ、世人ニ於テ殆ント知ラザルモノナキガ如キ縣下著名ノ寺院ナリ而シテ當寺院ノ位置タルヤ平地ヨリ之レヲ望ムトキハ幾層ノ高處ヲ占メ周圍殆ント田畑ヲ繞ラシテ現境内ト上地林トヲ以テ一團ヲ爲シ自然ノ區畫ヲ形テ造リ舊川越城趾ト遙ニ相對峙シテ北方一路川越ノ市街ニ接續シテ其風致ノ優秀ナル古刹靈場タルコトヲ想見スルニ餘リアリ是ヲ以テ上地林ノ所屬如何ヲ知ラサルモノハ皆本院境内ナリト誤信シ老樹

蒼鬱ノ間ニ千古ノ歴史ヲ追想シテ轉々感情ヲ惹記スルモノ日一日ヨリ多キヲ加フルハ自然ノ現象ニ之アリ蓋シ當院ノ風致ハ專ラ上地林ニ於テ保維セラル、ヲ以テナリ然ルニ一朝他人ノ有ニ歸シ樹木伐採ノ非運ニ遇ハ、千古ノ歴史ヲ抹殺シ寺院ノ風致ハ殆ント滅却スルニ至ラン尙其ノ風致上必要ナル密接ノ關係ヲ圖面ニ徴シ事實ニ就キ項ヲ別チ之ヲ述ベ候

一坊舎(本堂廡)ノ内大書院ハ三代將軍家光誕生ノ間ヲ將軍家ヨリ當院へ下附相成リタルモノナリ故ニ家光公世ニ在ル時ハ時々來駕セラレタルヲ以テ溝池庭園ヲ築キ甚ク美觀タリ殊ニ書院ト上地林トハ距離僅ニ二三尺ニシテ風致上必要ナルコトハ一目瞭然タリ

一慈惠堂(一ニ大師堂ト稱ス)ト坊舎トノ間ニアル廊下ハ上地林ニ密接シ境内風致ノ美觀ヲ添ヘ

一當院ニ於テ明治二十八年七月二十八日印刷シタル寺院境内外ノ繪圖面ハ樹木存在ノ現狀ヲ書キタルモノニ付キ本件上地林ノ樹木カ果シテ境内ノ風致上必要ナルヤ否ヤハ該繪圖面ニ依テ明瞭ナリトス依テ特ニ本件願書ニ添付シ且ツ上地林ニ屬スル部分ニ朱點ヲ施シ之レヲ示ス(朱點内ハ上地官林ナリ)右之如キ事實ナルヲ以テ該上地林何歩ハ是非現境内ニ編入アラシコトヲ懇願ノ至リ

ニ堪ヘズ依テ爰ニ實測圖面相添ヘ此段相願候也

年 月 日

何縣何郡何村

何々院住職  
右檀徒惣代

何 三

某 名

内務大臣  
農商務大臣  
宛

別紙トシテ左ノ書類ヲ添付スルヲ要ス

一三斜法ニ依ル實測圖面

二寺院佛堂ノ本堂庫裡其ノ他建物ノ位置并ニ其上地林トノ離隔間數ヲ記入シタル現境内地并ニ上地林周圍ノ地種地目ヲ記載シタル見取圖面

○寺院境内地紀念碑建設願ノ書式

寺院境内地紀念碑建設願

何郡何村大字何宗何々寺前住職故何某氏ハ明治何年當寺ニ在住以來全何年何月ニ至ルマテ至誠其職ニ盡サレタルノミナラス當寺法要費ヲ補ヒテ毎年法要ヲ爲シ又修繕費改築費及ヒ土地ヲ寄附シテ永遠維持ノ基礎ヲ定メ候等ノ事歴有之候則維新後寺領沒收及ヒ檀家減少ノ爲メ自然法要執行ノ費用十分ナラサリシモ自ラ是等ノ費用ヲ支

出シ法要上少シモ失墜ノ義無之今日ニ至リシハ全ク同氏ノ功績ニ有之又明治何年本堂ノ改築同何年庫裡ノ改築等ノ費用モ凡テ同氏ノ寄附ニテ支辨シ殊ニ同何年永遠當寺ノ基礎ヲ鞏固ナラシメンカ爲メ自己所有ノ境外地二千坪ノ私有地ヲ當寺有地ニ寄附シ併セテ其周圍ニ林立セル樹木ヲモ寄附シテ風致ヲ添ヘタル等ノ事蹟有之當寺ニ對シ其功勞尠カラス候間特ニ當寺ノ境内地ヲ撰テ同氏ノ碑表ヲ建設セントスル儀ニ有之候間御許可相成度別紙碑文寫并ニ圖面添付此段奉願候也

年月日

何縣何村大字何

何寺住職

何

某

右檀徒惣代

三

名

府縣郡事宛

一碑文ノ寫及建碑ノ位置ヲ示シタル現境内ノ圖面ヲ添フ

○寺院境内地個人所有ヲ寺院境寄附願ノ書式

所有地寄附願

何縣郡町村大字何

一何百坪 何々寺境内

右何百坪ハ境内ニ使用セシメ居リ候ヘトモ拙者所有地ニ有之候ニ付今回何々ニ付何寺ノ境内地トシテ寄附致シ度候間御許可被成下度該寺院住職連署ノ上此段相願候也

年月日

何郡何村大字何々番地

所有者

何

某

同村何宗何々寺住職

何

某

府縣知事宛

○脱漏寺院ヲ明細帳編入願ノ書式

脱漏寺院明細帳編入願

何郡何村大字何字何

何宗何々寺

右何々寺ハ當村從前ヨリ存在シ當村何百戸ハ凡テ該寺ノ信徒ニ有之候處今回初メテ寺院明細帳ニ脱漏ノコト發見致シ驚入り候次第ニテ全ク明治十二年明細帳書上ヲ漏シタルモノト存セラレ候然ルニ當寺ノ從前ヨリ存在セシ事實ハ本堂庫裡等ノ建物ノ古色ヲ帶ヒタルニ徴スルモ明ナルノミナラス縣廳ノ官有地臺帳ニモ記載セラレ其ノ



他別紙證據書類寫ノ通りニ有之候間寺院明細帳ニ編入相成度此段相願候也

年月日

何郡何村大字何字何

何宗何々寺住職

右信徒惣代 三 何 某

府縣知事宛

別紙ハ左ノ書類ヲ云ノ

- 一、官有臺帳ノ寫(寺院ノ登載セラレタル部分)
- 二、寺院ノ存在ヲ認ムルニ足ル證據書類ノ寫
- 三、本堂庫裡其ノ他建物ノ位置ヲ示シタル現境内ノ見取圖
- 四、明細帳

○寺院名改稱願ノ書式

寺號改稱願

何縣郡町村大字何

何々寺

何々寺(朱書ナルヲ要ス)

當寺ハ元神佛混淆ノ際神社タリシモ維新ノ際神佛分離シテ寺院編ニ入相成候ヘトモ其寺號ハ依然神社類似ノ寺院ヲ使用シ寺院號トシテ穩ナラサルニ付今般檀家等ト協議ノ上前記朱書ノ通り改稱致シ度候間御許可被成下度此段相願候也

年月日

右宗派何寺住職 何

右檀家總代 三 某

府縣知事宛

○寺院由緒訂正願ノ書式

由緒訂正願

當寺ノ由緒ハ不詳ト明派帳書上ケ候ヘトモ今回別紙證據書類發見致シ候ニ付別紙豫定明細帳ノ通り御訂正相成度此段相願候也

年月日

何郡町村大字何

何宗派何寺住職 何  
右寺檀徒惣代 三 某

府縣知事宛

一證據書類ノ寫

二訂正セントスル件々ヲ記載シタル豫定明細帳

教令

○寺院移轉濟届ノ書式

寺院移轉濟届

當寺ハ何年何月何日指令第何號ヲ以テ何郡何村ヨリ何郡何村ヘ移轉ノ儀御許可相成候處今般移轉濟ニ相成候ニ付別紙明細帳相添此段及御届候也

年 月 日

何郡町村大字何

何宗派何寺住職 何

右寺檀家總代 三 名 某

府縣知事宛

一移轉後ノ明細帳ヲ添付

○寺院移轉跡地荒蕪地無料使用願ノ書式

官有荒蕪地無料使用願

何郡町村大字何何番

一荒蕪地 何百坪

此素地相當價金何圓

但一坪何十錢 近隣畑地價金一坪ニ付何錢ノ割

御許可ノ日ヨリ滿一ケ年ニ開墾成効

右地所タル當寺祖先ヨリ堂宇ヲ建立シ當代ニ至ル迄永住罷在候處寺院建物ハ何年何月何日指令第何號御許可ノ上何郡何村ヘ移轉致シタル跡地ニ有之候ニ付今般畑地開墾シ成効ノ上ハ素地代價ヲ以テ拂下ヲ得收益ヲ以テ當寺維持ノ一助ト致シ度候間前記年間無料使用ノ儀御許可被成下度事業方法及收支豫算並實測圖面相添此段奉願候也

年 月 日

何縣郡何町何村大字何

宗何派何寺住職 何

右 檀家惣代 三 名 某

府縣知事宛

(別紙) 事業方法

一開墾反別 何百坪

一開墾ノ目的 畑地ト爲シ永ク當寺ノ所有ニ屬セシメ收益ヲ以テ維持ノ一助ト爲スニアリ

一年 度 御許可ノ日ヨリ一週間以内ニ開墾ニ着手シ滿一ケ年ヲ以テ成効

一通 路 ノ見込且ツ東方ヨリ着手漸次完了シ處々散點セシメス 別紙繪圖面ノ通り道路ヲ存シ耕耘用ト爲スコト

(別紙) 收支豫算書

支出之部

種別	數量	代價	單價
人夫	何人	何圓	一人ニ付何錢
肥料	何貫目	何圓	一貫目ニ付何錢
種子	何石	何圓	一石ニ付何錢

收入ノ部

種類	石數	代價	單價
大豆	何石	何圓	一石ニ付何錢

一實測圖面添付ヲ要ス

○寺院移轉跡地拂下願ノ書式

何縣郡村字何番地

官有荒蕪地拂下願

一荒蕪地 何百坪

右地所ハ何年何月何日指令第何號ヲ何テ無料使用願ノ儀御許可ノ上直ニ開墾ニ着手致候處今般畑地ニ開墾濟ト相成候ニ付無料使用出願當時ノ素地代價金何圓ヲ以テ御拂下相成度此段奉願候也

年月日

何縣郡村大字何

何宗派何寺住職

何

右檀家總代

三

某名

府縣知事宛

○佛堂廢止願ノ書式

佛堂廢止願

何府縣市郡町村大字何

何

々

堂

堂佛堂ハ到底維持ノ見込無之候ニ付廢止致度候間御許可被成下度財產ハ別紙ノ通處理致度候間併テ御許可相成度奉願候也

年月日

何堂受持

何寺住職

何

某

教令

府縣知事宛

右信徒總代 三名

一境内及建物ハ賣却シ最寄佛堂又ハ寺院へ寄付スル等其處理方法等ヲ添付スルヲ要ス

○佛堂合併願ノ書式

佛堂合併願

何縣郡町村大字何 何 堂

堂佛堂ハ到底維持ノ見込無之ニ付何郡何村大字何々堂へ合併致度候間御許可被成下度財産ハ別紙之通處理致度候條併テ御許可相成度此段奉願候也

年月日

右何々堂受持

何寺住職 何

右信徒惣代 三名 某

府縣知事宛

○佛堂移轉ノ書式

佛堂移轉願

何縣郡町村大字何

何 堂

當佛堂境内地全部何々鐵道ノ線路敷地ニ該當致シ候ニ付今般信徒協議ノ上本縣何郡何町村大字何番地何某所有地何坪ヲ移轉地境内トシ該地ニ存在セル建物ヲ以テ堂宇ニ充テ移轉境内地ハ勿論該建物ヲモ併セテ所有者ヨリ當佛堂ニ寄附ノ上移轉致度候間御許可被成下度別紙相添此段奉願候也

年月日

右何々堂受持

何寺住職 何

右檀家總代 三名 某

府縣知事宛

(注意) 寺院移轉願參照

○佛堂境内地區變更願ノ書式

佛堂境内地區變更願

堂佛堂現境内地何百坪ノ内何百坪何々私設鐵道會社ノ鐵道敷設ニ該當致シ候ニ付別紙圖面ノ通り區域變更相成度此段奉願候也

年月日

何縣郡町村大字何

府縣知事宛

(注意) 寺院境内地區變更願参照

百五十坪未滿ノ寺院跡地拂下願ノ書式

○官有荒蕪地拂下願

何縣郡町村大字何番字何

一荒蕪地 百三十坪 代價金何圓

但壹坪ニ付何十錢 隣地一坪ニ付何十錢

右地所ハ元當寺境内地ニ有之候處何年月何日指令第何號御許可ノ上何郡何村へ移轉致シタル跡地ニ有之當寺ト關係淺カラサル土地ニ付キ永ク當寺所有地トシテ御拂下被成下度別紙實測圖面相添此段奉願候也

年月日

何縣郡町村大字何

何宗派何寺住職

何

右寺檀家總代

三

某名

何々堂受持

何寺住職

何

右信徒總代

三

某名

府縣知事宛

(注意)

隨意契約ニ依リ荒蕪地ノ拂下ヲ出願スル土地ハ必ス本例ノ如ク百五十坪未滿ナルヲ要ス

○寺院本堂庫裏改築願ノ書式

本堂庫裏改築願

當寺本堂庫裏何年月何日類燒致シ候ニ付今般檀家總代協議ノ上建築費ヲ支出シ別紙設計仕様書ノ通り改築仕度候間御許可相成度此段奉願候也

年月日

何府縣市郡町村大字何々

何宗派何寺住職

何

右 檀家總代

三

某名

府縣知事宛

(注意)

府縣知事宛ナルモ郡長分任事項ナルニ付郡長ニ提出ス改築費用ヲ一般公衆ノ寄附金ニ依ル場合ハ本願ノ追書ニ「追テ本願書改築ニ關スル寄附金募集願ハ別願書トシテ差出候間同時ニ御許可相成度爲念此段申添候也」記載ヲ要ス

○寺院本堂庫裏修繕願ノ書式

寺院本堂庫裏修繕願

當寺本堂庫裏ハ大破致シ到底小修繕ノ能クスル處ニアラサルヲ以テ今般檀家總代協議ノ上建築費ヲ支出シ別紙設計仕様書ノ通り修繕仕度候間御許可相成度此段奉願候也

年月日

何縣郡町村大字何

何宗派何寺住職

何

某

右 檀家總代

三

名

府縣知事宛

(注意) 寺院本堂庫裏改築願書式參照

但小修繕ノ如キハ許可ヲ要セサルモ寄附金ヲ募集スルカ如キ場合ハ凡テ許可ヲ經サル可カラス

○寺院創立願ノ書式

寺院創立願

何郡何村ハ明治何年ノ開墾地ニシテ最初ハ人家僅ニ五六戸ナリシモ漸次増加シテ現今二百餘戸ト相成リ遂ニ一村ヲ成スニ至リタルモ新開墾地ニ付近傍ニ一ヶ寺モ無之其ノ最近ノモノト雖トモ尙二十餘里ヲ隔リタル何々寺アルノミ然ルニ當村全體何宗

派ノ信徒ニ有之候間別級ノ通り一寺創立致度候間御許可相成度此段奉願候也

年月日

何縣何郡村大字何

創立者何某外何百人總代

三

名

府縣知事宛

別紙ハ左ノ如シ

一 豫定明細帳 境内坪數

二 本堂庫裏ノ位置ヲ示シタル見取圖面

三 維持ノ方法ヲ記載シタル書類

○寺院上地官林保管願ノ書式

上地官林保管願

何縣何村大字何番森林

面積何町歩ノ内

一 實測面積何程

木竹ノ種類及數

松 凡何本

杉 凡何本

教令

竹 凡何本 雜木凡何本  
期間何年間 但 自明治何年何月何日  
右ハ當寺ノ土地森林ニ有之候ニ付保管御許可相成度別紙實測圖及ヒ保護方法書相添  
此段相願候也

年月日

何縣郡村大字何

何宗派何寺住職

何

何寺檀家總代

三

某名

大林區署長宛

○寺院寄附金募集願ノ書式

寄附金募集願

何郡何村字何

何宗派何々寺

右舊藩時代南部利直公ヨリ該寺接續地高何百石ヲ寺領トシテ附與相成該寺ヲ維持致シ來リ候處維新後御改革相成候以來右様ノ事無之僅ニ七十餘戸ノ檀家ニテ目下大破セルモ修繕及維持ノ方法相立タサルニ付今般廣ク信仰諸人ヨリ寄附募集ノ上修繕費及永久維持資本ニ致度候間御許可被成下度別紙設計書及募集調書相添此段奉願候也

年月日

何縣郡村大字何

何宗派何寺住職

何

右 檀家總代

三

某名

府縣知事宛

募集調書

一募集ノ目的

該寺ハ資本財産ヲ有セス僅ニ七十餘戸ノ檀家ニテハ維持及ヒ難ク遺憾ニモ維新後完全ナル修繕ヲ爲ササル爲メ大破ノ個所多ク現ニ修理セサルヘカラサルニ相迫リタルニ依リ弘ク信仰諸人ノ寄附ヲ得是非修繕及維持資本ノ設備致度目的ニ有之候  
修繕 費金何百何拾圓  
維持資本金何百何拾圓  
一募集方法

該寺ノ住職及ヒ檀家總代各地ニ出張シテ募集シ住職ヨリ右募集ニ關スル書類ヲ添付シテ寄附ヲ申入ル、方法ニ候

受納手簿ハ募集臺帳及一定ノ受領證ヲ備ヘ置キ金員ヲ領收シタル時ハ直ニ記帳ノ上受領證ヲ交付シ右ノ記帳交付ハ住職掌理ス

教令

- 一 募集金額 何百何拾圓
- 一 募集區域 何々縣管内
- 一 募集金管理方法

住職ニ於テ管理シ募集シタル金額何圓ニ達シタル時ハ直ニ郵便貯金又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ利殖シ置キ修繕費ノ外該方法ニヨリ永遠維持スルモノトス

(別紙) 修繕設計書

一金何百何拾圓

内 譯

金何拾圓	杉何百本	但一本何拾錢ノ見込
金何拾圓	栗何百本	但一本何拾錢ノ見込
金何拾圓	松何百本	但一本何拾錢ノ見込
金何百圓	何々々	但何々々
金何百圓	工作料費	但大工木挽其他凡何百人

右ノ通り設計仕候也

年月日

設計者

何

某

(別紙) 三ヶ年間ノ間該寺院ノ收支計算調(書式略ス)

(注意) 募集ノ區域二以上ノ府縣ニ跨ルトキハ内務大臣ノ許可ヲ要ス

管長ノ添書ヲ要ス

○寺院寄附金募集延期願ノ書式

寄附金募集延期願

何郡何村大字何々寺本堂庫裏修繕寄附募集ノ儀明治何年何月何日指命第何號ヲ以テ御許可相成爾來募集ニ從事罷在候處本年凶作ノ結果一般困難ノ場合寄附金蒐集ノ見込相立タス候ニ付明治何年何月何日迄募集期限延期ノ儀御許可被成下度檀家總代連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

何縣何郡村大字何々

何宗派何寺住職

何

右 檀家惣代

三

某名

府縣知事宛

○佛堂上地官林保管願ノ書式

上地官林保管願

何縣郡村大字何番森林  
面積何町歩ノ内

教令



一實測面積何程

木竹ノ種類及數

松 凡何本

杉 凡何本

竹 凡何本

雜木凡何本

期間何年間

但自治何年何月  
至明治何年何月

右ハ當佛堂ノ上地森林ニ有之候ニ付保管御許可相成度別紙實測圖及ヒ保護法書  
相添此段相願候也

年月日

何府縣郡村大字何

何々堂受持

何寺住職

何

右信徒惣代

三

名 某

何々大林區署長宛

智山派寺院明細表

▲京都府宗務支所下

七 四	松原通 五辻通 松原通	京都府 平野寺 大報恩寺 西之坊	廿九 五八	六角通 七本松通 錦小路通	愛染院 清龍院	同 廿二	松原通 松原通 清原寺町	六波羅密寺 東之坊 清閉寺
七 〇	竹田村 竹田村	紀伊郡 安樂壽院 寶光院	廿三	伏見町	觀音寺	同	富野莊町	光明寺
九 〇	大山崎村 草内村 立川村	乙訓郡 寶積寺 法泉寺 大道寺	廿五 二十	綴喜郡善賢寺村 同東	觀音寺 大德寺	廿八	井手村 字治田原村	西光院
九 一	瓶原村 瓶原村 加茂村 加茂村 久世郡宇治町	相樂郡 海住山寺 關分寺 福心寺 惠心院	十三 同六 廿三	笠置村 加茂村 同稻田村	笠置寺 現光寺 觀音寺	同 廿四 廿七	高麗村 大川原村 西川原村	神童寺 春光寺 琦常寺
五 一	東別院村	南桑田郡 金輪寺	十五					
八	南河内郡彼方村	大坂府 明王寺						
廿四	波多野村	奈良縣山邊郡 自作寺						

京都府 蓮台寺 和歌山



十五 松山市

觀音寺

廿五 同道後町

三寶寺

▲熊本縣宗務支所下

十五 水上村

球磨郡

生善院

十八 黑肥地村

青蓮寺

▲宮崎縣宗務支所下

十五 都於郡村

兒湯郡

黑貫寺

十八 下穗北村

延命寺

十八 那古村

南那珂郡

淨土院

十八 新別府村

天林寺

▲長崎縣平戸宗務支所下

十 江迎村

北松浦郡

壽福寺

同 同

西光寺

同 同

朝音院

十四 平戸村

北松浦郡

最教寺

同 同

西光寺

同 同

朝音院

十四 中野村

妙觀寺

同 同

福滿寺

同 同

朝音院

廿二 今福村

善福寺

同 同

阿彌陀寺

同 同

東漸寺

廿二 平戸村

西禪寺

同 同

淨漸寺

同 同

清岩寺

▲福井縣宗務支所下

五 三國町

坂井郡

性海寺

同 同

瀧谷寺

同 同

糸崎寺

同 同

三國町

同 同

總持院

同 同

教福院

廿二 麻生津村

足羽郡

泰澄寺

同 同

愛染寺

同 同

觀音院

十五 山代村

加賀國江沼郡

藥王院

同 同

愛染寺

同 同

觀音院

▲岐阜縣宗務支所下

九 吉田村

武儀郡

新長谷寺

十七 西神野

香林寺

廿四 阿曾野村

藥師堂

十一 一色村

本巢郡

大福寺

廿六 同村

福性寺

十九 眞桑村

法英寺

廿四 大垣町

安八郡

長光院

廿四 穗積村

玉藏院

同 同

同 同

同 小藪村

羽島郡

眞福寺

廿五 長海西村

德林寺

十七 豐岡村

可兒郡

長福寺

福井 岐阜 滋賀



十四	三澤村	津久井郡	普門寺	十九	大井村	泉藏寺	廿三	大井村	壽性院
十四	相原村	高座郡	蓮乘寺	十五	同村	花藏院	十六	溝村	安樂寺
持等	宮崎町	橫濱市	延命院	廿二	中橋村	東樹院	廿二	神奈川町	吉祥寺
廿二	中原村	長安	福養寺	二十	高津村	金剛寺	二十	大網村	觀音寺
二十	高尾村	正泉	正福寺	十九	高津村	寶藏寺	十九	住吉村	東門寺
十八	中原村	正常	樂福寺	十八	高津村	明松寺	十八	住吉村	觀音寺
十五	川崎町	眞命	延命寺	十七	高津村	安養寺	十七	生見村	蓮花寺
十四	御幸村	無量	延命寺	十四	高津村	寶藏寺	十四	生見村	東福寺
十三	御幸村	圓能	延命寺	十三	高津村	眞觀寺	十三	生見村	東福寺
九	田島村	平間	延命寺	十一	高津村	成藏院	十一	生見村	西明寺
特等	大師河原村	橋樹郡	延命寺	七	高津村	成藏院	七	生見村	西明寺

▲神奈川縣宗務支所下

- 九 岡崎町 額田郡 貞壽寺
- 廿三 長島村 三重縣桑名郡 大智院
- 十五 神戸町 河藝郡 林光寺

廿一	淺井町	葉栗郡	甘露寺	同	清洲村	眞福寺	十七	味岡町	小松寺
十五	小牧町	東春日井郡	戒藏院	廿五	山田村	觀音寺	十九	楠村	西方寺
廿二	楠村	西春日井郡	護國院	廿六	岩倉町	松林殿	廿八	丹陽村	延命寺
十四	城東村	丹羽郡	觀音寺	同	同	彌勒寺	同	三和村	中之藏坊
十三	上野村	知多郡	大智院	十八	橫須賀町	寶藏寺	同	旭村	地之藏坊
廿三	笠寺村	愛知郡	寶壽院	廿四	鳴海村	東福院	同	荒子村	喜見院
十五	同	荒子村	寶珠院	同	同	泉藏院	同	同	西院
廿五	同	長福	長福寺	廿七	千代田村	永福寺	廿七	宮澤町	寶藏院
同	同	大願	大願寺	同	同	桂林寺	同	同	長動坊
同	同	大聖	大聖寺	同	同	西網之坊	同	同	東網之坊
同	同	吉壽	吉壽坊	同	同	龍泉寺	同	同	觀音寺
同	同	美和	美和坊	同	同	慈雲寺	同	同	東林寺
同	同	七寶	七寶坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮	開蓮坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	關樂	關樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	安樂	安樂坊	同	同	普明寺	同	同	延命寺
同	同	開蓮							















十廿廿二同十同十同七	廿同同同二十十十	同同同同同同同	同同同同同同同
三二八六五	五十九七五	六	六
西長縣西中依城鹽武上禰	東南小岩小平南蘆小	小平布岸田中大野	小平布岸田中大野
條窪村中鹽田村村村村	倉井町諸根大田沼	海賀施野口瀨澤	海賀施野口瀨澤
村古田村	村村村村	町村村村	町村村村
開明長滿眞龍極東妙海長	神藥相圓長延光正眞	妙定寶松上小長藥	妙定寶松上小長藥
善星江願光泉樂福見禪命	宮王昨滿勝命明明樂	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺
寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺
十廿同廿十同同同同十	〇廿廿廿同同同十	〇廿廿十十十同	〇廿廿十十十同
七四一九	三二一八三	四二九八七	四二九八七
桑傍泉上丸縣和同東長西	高西平三春南岩御小	川畑畑同切野穗前	川畑畑同切野穗前
原陽田田子村村村村	瀨長根都日大村代諸	上八八原澤積山	上八八原澤積山
村村村村	村村村村	村村村村	村村村村
長常仙宗長長幸正長觀前	遍大東賴蓮金長寶成	寶福自寶善福善仙	寶福自寶善福善仙
禪光福昨泉久祐福福音山	照聖照洞花剛福珠就	寺院寺寺寺院寺	寺院寺寺寺院寺
寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺
十廿同同同同同同十	〇十同同同同同十	十同廿同同同同	十同廿同同同同
九五四一	四六四	五一一	五一一
清神禰城中川城西泉富和	鹽同三四大二三東小協	田野切布櫻櫻野	田野切布櫻櫻野
野科津下鹽邊下鹽田土田	澤都長里々長沼和	口澤原施井井澤	口澤原施井井澤
村村村村村	村村村村	村村村村	村村村村
龍玉聖大正觀祥中高西菩	龍東龍密西根寶長福	觀明長常神延專	觀明長常神延專
泉藏天福泉音雲禪仙光薩	水光泉藏光通性泉王	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺
寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺

十一	十七	十九	廿五	同	同	同	同	十四
前山村	中土村	龍下久堅村	伊那西那村	同	同	同	同	檜川村
南佐久郡	北安曇郡	下伊那郡	上伊那郡	同	同	同	同	西筑摩郡
前山寺	神宮寺	長文永寺	龍成眞延香無樹	社甲長極眞小善法	宮立泉樂福泉光	寺寺寺寺寺寺	寺寺寺寺寺寺	觀音寺
十五	同	廿五	同	同	同	同	同	同
岸野村	社村	三山本村	手美伊美飯朝伊	本湊永四本玉平	鄉村明賀郷川野	村村村村	村村村村	村村村村
寶藏寺	盛蓮寺	立光石明寺	宗玉七觀眞高香	法觀總開高長照	隆音持敷榮圓光	寺院院院寺寺	寺院院院寺寺	寺寺寺寺
同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同
多福寺	藤安本院寺	妙昌恩藥西日	樂福徳王光輪	昌眞金萬昌平眞	林秀乘福福福徳	寺寺院寺寺寺	寺寺院寺寺寺	寺寺院寺寺寺

▲長野縣北部宗務支所下

十九	植科郡森村	觀音寺	同	稻荷山町	長雲寺	同	五加村	興隆寺
五	上高井郡保科	清水寺	同	中野町	南照寺	同	同	如法寺
廿四	延德村	觀龍寺	廿一	平野村	建龍寺	廿三	平岡村	延命寺
廿三	南條村	植科郡成福寺	同	同	同	同	同	同
十九	中佐都村	北佐久郡正法寺	十四	内山村	長蓮寺	十五	志賀村	法禪寺
十七	安茂里村	上水内郡正覺院	十五	長沼村	靈山寺	同	同	同
廿一	鹽崎村	更級郡長谷寺	同	同	同	廿八	共和村	觀照寺
廿三	川田村	萬福寺	同	同	東明寺	廿二	保科村	長福寺
八	松里村	東山梨郡放光寺	同	同	同	同	同	同
廿五	諏訪村	吉照寺	同	同	同	同	同	同
廿四	九一色村	西山梨郡吉祥寺	十九	甲府市大工町滿藏院	金剛寺	同	同	同
十	竹ノ原村	東八代郡福光園寺	十九	祝村	同	廿五	竹ノ原村	文珠院

▲山梨縣甲宗務支所下

▲山梨縣乙宗務支所下

十	增穂村	南巨摩郡明王寺	同	同	同	同	同	同
十九	丹波山村	北都留郡法興寺	同	同	同	同	同	同
二十	龍王村	中巨摩郡光善寺	十九	上野原村	久善寺	廿三	同	金龍寺
二十	小笠原村	北巨摩郡福性院	同	同	同	同	同	同
廿一	岡部村	東山梨郡大藏經寺	廿六	八幡村	妙水院	二十	八幡村	神宮寺
廿四	田ノ岡村	中巨摩郡長谷寺	廿四	大鎌田村	長谷寺	同	同	常光寺
十四	大宮村	西山梨郡鹽澤寺	二十	同	明王院	同	同	同
十五	賑岡村	北都留郡真藏院	同	同	同	同	同	同
十八	一櫻村	東八代郡慈眼寺	同	同	同	同	同	同
同	英立村	安樂寺	同	同	同	同	同	同
廿三	豐富村	延命寺	同	同	同	同	同	同



十六 同同同同同同同同同同十十八七六  
 平秋元村 延命寺  
 ▲千葉縣君原宗務支所下  
 廿廿廿同同廿同同同同同同同十四  
 五四三 一 四  
 周松龜同秋龜中松小八龜中同環同中  
 南丘山元山村村村村村村村村村村  
 藥光 如寶圓真常泉萬幸長歡藏惠國千神長  
 王福 意藏盛藏福瀧藏田谷喜福光分手宮泉  
 院寺 寺寺院寺寺院寺寺院寺寺院寺寺院寺  
 同同 廿同同同同廿同同同十二同同同十四  
 五 二 九十 四  
 秋同三同松中 龜同小小小小中龜環  
 元島丘村糸山糸糸糸糸村山村  
 村村村村村村村村村村村村村  
 長大 來吉普常瀧無不圓西密正金金密明興  
 照日 迎祥門住泉量動藏光乘福剛胎藏覺源  
 寺寺 寺寺院寺院寺寺院寺院寺院寺院寺

千葉縣中島宗務支所下

○廿廿同同  
 二一  
 竹大港大吉  
 夕貫町貫野  
 岡村村村村  
 延建福觀清  
 壽福聚藏光  
 院寺院寺  
 同同同同  
 同周佐天同  
 南貫神山村  
 東眞寶安道  
 善龍龍養湯  
 寺寺寺寺  
 廿同同同  
 四  
 青環同同  
 壠村村  
 金普報泉  
 剛賢恩汲  
 院寺寺

十同同同同十同十十十  
 九 八 六五四三  
 八富湊真竹青吉吉佐周天佐  
 重津町元岡堀野野貫南神貫  
 原村村村村村村村山町村  
 忠東西南不福能金像龍圓岩  
 善福光養動恩剛法善正富  
 寺寺院院寺寺寺寺寺寺  
 二同十同同同同同同十五  
 十 九 四  
 富佐金吉港關吉周同吉大周  
 津貫田野町村野南野貫南  
 町村村村村村村村村村  
 醫淨吉相大東滿寶慈寶眞附  
 光光祥源圓光藏泉眼懂福屬  
 寺寺院寺寺院寺寺寺寺寺  
 同同同同同同同十同十同同  
 七 六  
 港同金八佐真周環竹竹天大  
 町谷重貫元南村南崗神貫  
 村原町村村村村村山村  
 村村村村村村村村村  
 東圓華日光正遍滿延藥妙最  
 明鏡藏輪明福照福命王藏上  
 寺寺院寺寺寺寺寺寺寺寺

千葉縣小久保宗務支所下

同同同同同同同同同同同同  
 同西白曾富西大 同七大大長天長西西  
 岬濱呂浦岬山 岬山尾津尾岬條  
 村村村村村村 村村村村村村  
 正寶大林正高永積東悉石白海千蓮  
 見藏門淨覺性泉藏漸地戶性福福化  
 寺院院院寺寺寺 院寺院寺院寺  
 同同廿同同同同同同廿同同同同  
 五 三  
 豐神船館健神西太白保鴨同館同由  
 津戶都山田戶岬海濱川山基  
 村村村町村村村村村町町村村  
 長玉寶觀大千眞西正圓東寶千福密  
 泉藏藏乘瀧祥福德榮照福泉光藏藏  
 寺院院院寺寺寺 寺寺院寺院寺  
 同同同同同同廿同同同同同同同  
 四  
 天同南長白佐豐由千曠同長白豐神  
 津三尾濱久津基歲町尾濱房戶  
 町原村村村間村村村村村村村  
 持千寶千慈無積等金圓光觀金寶成  
 明龍樹光眼量藏覺福乘福乘剛懂願  
 院寺院寺寺院院院院院寺院院院寺

















廿一	堂島村	河沼郡	東光寺	廿三	廣瀨村	立安寺	廿五	寶坂村	光珠寺
廿四	筵川村	河沼郡	遍照寺	同	飯谷村	常照寺	同	同島村	長福寺
同	勝常村	大沼郡	長龍寺	同	同	安穩寺	同	常勝村	萬福寺
廿五	旭村	安積郡	光福寺	同	同	同	同	同	同
廿五	舟津村	南會津郡	光傳寺	廿四	若松市	玉泉寺	同	若松市	善一行院
同	伊北村	北會津郡	松園寺	廿五	川南村	永福寺	同	高野村	千福寺
廿四	荒井村	北會津郡	德善院	廿五	一箕村	成就院	同	同	同
同	荒井村	安達郡	觀音寺	同	同	同	同	同	同
○	大綱木村	福壽郡	福壽寺	同	同	同	同	同	同
廿五	關柴村	耶麻郡	寶性寺	同	同	同	同	同	同
▲宮城縣宗務支所下									
廿一	東三番町	仙臺市	彌勒院	廿五	荒町	滿福寺	同	木ノ下町	國分寺
十二	田尻村	遠田郡	八幡寺	十九	不動堂寺	長福寺	二十	中坪村	松景院

廿一	箕岡村	名取郡	西光寺	十六	岩沼町	竹駒寺	二十七	中田村	寶泉寺
十七	下増田村	東光郡	東光寺	同	館腰村	真福寺	同	秋保村	安光寺
廿一	高館村	新宮郡	觀音寺	廿二	下増田村	岩華寺	廿一	六郷村	西養寺
廿一	東多賀村	新宮郡	觀音寺	同	同	同	同	同	同
廿一	中田村	新宮郡	觀音寺	同	同	同	同	同	同
廿一	高館村	新宮郡	觀音寺	同	同	同	同	同	同
廿四	館矢間村	伊具郡	正藏寺	十八	角田町	高藏寺	廿一	館矢間村	性泉寺
廿四	北郷村	伊具郡	成就院	同	同	同	同	同	同
廿五	藤尾村	伊具郡	成就院	同	同	同	同	同	同
十三	白川村	刈田郡	觀音寺	十六	白石町	觀福寺	十八	宮川村	蓮藏寺
同	大平村	刈田郡	威德寺	同	同	同	同	同	同
十九	小原村	刈田郡	常福院	廿四	小原村	延命寺	廿三	白石町	毘沙門寺
廿三	圓田村	刈田郡	常福院	同	同	同	同	同	同
十四	北村	桃生郡	箱泉寺	十八	室戸村	醫王寺	十九	前谷地村	龍石寺
十五	山下村	互理郡	殊善寺	廿九	山下村	明光院	廿四	逢隈村	觀音院
同	石卷町	牡鹿郡	壽福寺	同	同	同	同	同	同
十五	同	柴田郡	觀音寺	廿二	同	善誓寺	廿四	鮎川村	金剛寺
十五	大河原町	柴田郡	最勝院	十六	槻木村	大光院	廿一	川崎村	西福寺









廿四 猿橋町 正壽院 二十九 乙村 寶常院 廿五 新瀧市 眞不動院

十八 同 岩船郡 延命寺 二十九 關谷村 正滿寺 廿二 鹽野町 行福寺

同 同 西寶院 廿五 同 成就院 廿四 神納村 長松寺

十三 石地町 眞藏院 廿五 湯谷町 延命寺 廿五 堀之内村 圓龍寺

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 龍動寺 廿五 堀之内村 常泉寺

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 不安寺 廿五 堀之内村 寶積寺

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 圓智院 廿五 堀之内村 證光寺

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

十九 同 眞藏院 廿五 湯谷町 同 廿五 堀之内村 同 廿五 堀之内村 同

▲新潟縣佐度西部宗務支所下

十五 富曾龜村 西福寺 十八 北谷村 椿澤寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

廿三 高田町 寶藏寺 廿三 眞人村 般若寺

▲新潟縣佐渡南海宗務支所下

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

廿二 高田町 寶藏寺 廿二 眞人村 般若寺

十九	西三川村	玉泉寺	二十	赤泊村	玉藏院	廿二	西三川村	如意輪寺
廿一	羽茂村	千手院	廿一	小比叡村	寶藏坊	廿二	赤泊村	清行寺
廿二	赤木村	勝泉寺	廿二	西三川村	養禪寺	廿二	赤泊村	不動院
廿三	小三川村	觀音寺	廿三	小三川村	常滿寺	廿四	赤木町	藥師寺

十	釜山大廳町	鮮金剛寺	十五	慶尚北道大邱府遍照院
---	-------	------	----	------------

總本山京都市下京區東瓦町 智積院

大正元年八月十四日印刷  
大正元年八月十七日發行

定價郵稅共金六十四錢

編輯者	千葉縣海上郡銚子町圓福寺住職
發行者	茨城縣東茨城郡大貫町西光院住職
印刷者	長野縣小縣郡鹽尻村東福寺住職
印刷所	東京市神田區仲猿樂町四番地
發行所	東京市芝區愛宕町一、四

角田 賴惠  
櫻井 榮山  
小口 隆宣  
秀光 舍  
智嶺新報社

272  
34

海  
洋  
學  
報  
第  
二  
十  
七  
卷  
第  
三  
十  
四  
號  
一  
九  
五  
八  
年  
十  
一  
月  
十  
日  
出  
版

終

